

Rotary 



BE THE INSPIRATION
インスピレーションになろう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

2018-19年度
ガバナー月信 **9**月号

Vol.3

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **山本博史**



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2018-19年度
ガバナー月信 9月号 Vol.3

CONTENTS

ガバナーメッセージ 基本的教育と識字率向上月間に寄せて	1
ロータリーの友月間に因んで	3
ガバナー補佐になって	4
大阪南なみはやロータリー衛星クラブ 設立の件	5
「平成30年7月豪雨」義捐金報告とお詫び	6
米山奨学委員会 大学との意見交換会 報告	7
青少年交換プログラム 来日学生 関係者オリエンテーション 報告	8
クラブ国際奉仕委員長会議 報告	9
インターアクト海外研修 報告	10
ロータリー財団 グローバル奨学生 渡航前オリエンテーション 報告	12
地区大会のご案内	14
友愛の広場 展示ブース 出展者募集	16
地区ローターアクト 活動報告	18
広報・情報・公共イメージ向上委員会より	20
My ROTARY 登録率	21
地区研修・協議会 会計報告	22
2018年7月度 会員数・出席報告	23
コーディネーターニュース	24
ハイライトよねやま	25
文庫通信	27
2018-19年度 組織図	28



基本的教育と 識字率向上月間に寄せて

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー

山本 博史
(大阪南RC)

全世界で識字率が上がれば、多くの問題が解決される（貧困の削減、健康状態の改善、経済発展、平和構築）と言われています。特に女性の識字率は、妊婦の死亡率を66%減少させ、子供が5歳以上生き延びる確率も、読み書きの出来ない母親の子供に比べ50%も高くなるそうです。また、全世界の貧困12%が読み書きの習得によって、貧困から抜け出すことができるとも言われます。

国連ミレニアム開発目標 (MDGs) の報告書では、就学率及び若年層の識字率は向上したものの、いまだ5,800万人の子供が学校に通えない、4年間の初頭教育を受けた後でも読み書きのできない子供が2億5,000万人いる、7億8,100万人の成人が読み書きできないとされ、我々ロータリーも継続して取り組むべき課題だと思えます。

我々ロータリアンはロータリー財団のグローバル補助金を使ってこの分野の活動に取り組むことができます。ロータリー財団の「基本的教育と識字率向上」の目標は、以下の通りです。

1. 基本的教育と識字能力をすべての人々に与える地域社会の力を高めるプログラムを支援し、地域社会の参加を促進
2. 成人の識字率の向上
3. 教育における男女格差を減らすための活動
4. 基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

また、これら目標を達成するための具体的な活動には、以下のようなプロジェクトがあります。

1. 技術プロジェクト
コンピューター学習室など技術プロジェクトによって、学校のインフラ改善を支援する
2. 図書館
書籍の提供のみならず、専門職員または研修を受けたボランティアを配置する
3. 語学研修
語学指導に関する研修を受けた教員により、特に移民が多い地域社会や多数の難民を受け入れている国などで語学教育を実施する
4. 教員研修
(世界では国の基準を満たす研修を受けた教員が75%に満たないとされ、) 教員のスキルアップをはかる研修を実施する
5. 幼児教育
0歳から8歳までの乳幼児が通う保育園や幼稚園などで、発達および教育の成果に重点を置くカリキュラムを導入する



6. 特別支援を要する生徒の指導

光や音を使う感覚室やセラピーなどの手段をプロジェクトに取り入れることで、グローバル補助金の対象となる可能性がある

7. 教育分野の奨学生

幼児教育、初等教育、または中等教育（または大学レベルでの教育コースの指導）、特別支援教育、カリキュラム開発、図書館学など専攻する学生に奨学金を提供する

ロータリー財団のグローバル補助金では、成果の継続性が求められます。これは「補助金資金がすべて使用された後にも、受益者が自力で地元のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」です。単に学校に対して教科書や教育資材を寄贈するだけでは承認されませんが、研修や教育的プログラムを実施することによって、受益社会の継続的な教育インフラの向上をはかることができます。

確かに手間もかかり難いようですが、識字率の向上がその他5つの重点分野の解決にも大いに貢献するわけですから、各クラブの皆様は果敢にチャレンジして頂きたいと思います。

ロータリーの友月間に因んで なぜ「ロータリーの友」を読むのか？



ロータリーの友
地区代表委員

木村 芳樹
(大阪南RC)

ロータリアンの三大義務に「会費の納入」「例会への出席」「ロータリー雑誌の購読」があります。

この三大義務はロータリアンであり続ける資格を意味します。1番目の「会費の納入」は会を存続するために必要で、これは当然です。

2番目の「例会への出席」はロータリーの基本単位である自クラブへの出席を意味します。ただ単にクラブ例会に出席するのではなく、クラブの他の会員とクラブの情報を共有するのが目的です。クラブの全会員が情報を共有することによってはじめて一つのまとまったクラブができます。

では3番目の「ロータリー雑誌の購読」はどうでしょうか。「ロータリー雑誌」、日本では「ロータリーの友(以下「友」)」を購読することが義務とされていますが、「読まれないベストセラーズ」などと揶揄されており、「面白くない」とか「読みにくい」、また「一ページも読んだことがない」と堂々と発言される会員もたまにおられます。本当にこれでいいのでしょうか。

「友」の横書きにはR I 指定記事や特集記事などロータリーの基本的な情報や変化し続けている現在のロータリー情報の解説などが、また縦書きには日本の各ロータリー活動の紹介や意見記事などの情報が掲載されています。「友」を読むことによって世界の日本のロータリーの情報を得ることができます。

つまり、「友」購読の目的は自クラブ以外の地区のロータリアン、日本全国のロータリアン、そして全世界のロータリアンと共に現在のロータリーの情報を共有することです。一人一人のロータリアンが毎月の「友」を購読することによって世界のロータリーの中のロータリアンになれます。

ロータリー雑誌のあゆみ

ロータリーの情報を共有しようと1911年1月25日に機関紙として創刊された『THE NATIONAL ROTARIAN』(『THE ROTARIAN』の前身)。ポール・ハリスによる「合理的ロータリアニズム」が掲載されました。これがロータリー雑誌の始まりで、『THE ROTARIAN』として現在までつづけられています。

その創刊の約40年後の1952年4月、日本 I 地区としての最後の地区大会が大阪の中之島公会堂で開かれました。

2地区になっても情報を共有しようと共通の機関紙の創刊が企画され、1953年1月には「ロータリーの友」が創刊され、1980年7月にRI公式地域雑誌に指定されました。

ロータリー特別月間

2015年7月よりロータリー特別月間が大幅に変更され、4月の「ロータリー雑誌月間」が廃止されましたが、幸いなことに日本独自の月間として9月に「ロータリーの友月間」が新設されました。せめて年に一度はロータリアンにとって大事な情報源「ロータリーの雑誌(友)」について語る機会を持つのは大事な事です。

また各クラブにおきましては、ぜひ「友」に投稿し、クラブ独自のロータリー情報をシェアしてください。

ガバナー補佐になって

IM第2組
ガバナー補佐

松尾 浩
(高槻RC)



こんにちは。私は松尾 浩と申します。この度、国際ロータリー第2660地区IM 2組ガバナー補佐の役割を仰せつかり3ヶ月が経ち、15クラブの訪問も一段落いたしました。私自身は各クラブの訪問は初めてで、どのようなカタチで訪問すれば受け入れていただけるのか不安でしたが、各クラブのロータリアンの皆様がロータリーの寛大な心と友情をもって迎えて頂き感謝申し上げます。

丁度1年半前になりますが、ガバナー補佐の選出方法が変更になり立候補制になるので立候補しないかのお誘いを受けて、皆様の信任を得てこの重責を担うことになりました。

ロータリアンとしてのキャリアは19年と長いのですが、自分自身の親睦と職業奉仕にばかり力を注ぎすぎて「ロータリーの目的」のためにどのような行動をすれば達成できるのかなど考えたことはなくクラブ奉仕に対しても参加することで活動をしているように感じていました。

しかし、環境が変われば、人は変わるようで、ガバナー補佐になって思うことはロータリークラブは人間形成の場であると言われていますが、各クラブのロータリアンの皆様との歓談を通しての自分自身の職責の重さを痛感しました。

奉仕活動への熱き思いを受け、私がクラブに何が出来るかを考え、お役に立てるように行動しなくてはならないと自覚させられました。「ロータリーの目的」、「ロータリー哲学」とは何か。奉仕活動の行動規範をどのように実践していかななくてはならないかを皆様と共に行動、活動しなければならないかを感じています。

ガバナー補佐の職責を全うするためには生半可な知識では各クラブの皆様にお役に立てないとの思いで切磋琢磨していかなければならない1年になると思います。

2018-19年度のバリー・ラシンRI会長のテーマは「インスピレーションになるう」です。このテーマはロータリアンがより素晴らしい行動を起こして、より持続可能な影響を及ぼす奉仕活動を通して地域社会に変化をもたらすリーダーシップになることがメッセージに籠められていると思います。皆様のクラブが地域社会でインスパイアできる様に地区とクラブの架け橋になれるように努めて参ります。

今後共に、皆様の寛容なお気持ちで支えて頂けるように精進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

大阪南なみはやロータリー衛星クラブ結成にあたり

大阪南RC 増強委員会委員
地区幹事

中村 剛

2016年の規定審議会で、これまでにないほどの「クラブ運営の柔軟性」を高めていく事を採択されました。新しい柔軟性を活用する5つの方法として、①例会スケジュールを変更、②例会の方法を変更、③出席要件の緩和、④複数の会員種別を緩和、⑤ローターアクターがクラブに入会、がありますが、新しい選択肢をどのように取り入れるかは、各クラブの裁量に委ねられたのです。

そんな中、2017-18年度 副会長に任を受け、その担当でもある戦略計画委員会のメンバーとしてワーキンググループのグループ長を務めさせていただき、その課題の一部である、「衛星クラブ設立」に取り組みをさせていただきました。当初、衛星クラブの存在自体も名前すらも知らない状態での取り組みだったので、非常に困惑し、設立に対してあまり前向きに検討することができませんでした。

しかし、ロータリーにおける世界的な環境変化や運営のあり方を求められている中、現在は当クラブにおいて必要性を感じられなくとも、世界的な流れを考えたとき、中長期的には「衛星クラブ設立」の取り組みも前向きに考えるべきだと思いました。

「衛星クラブ」とは、本格的な独立したロータリークラブとなるまでの短期間の移行的形態です。正規のロータリークラブ設立に必要な最低20名の創立会員がいなくても、最低8名の会員を有していれば可能です。衛星クラブを通してロータリアンとなる機会を与えられます。

当クラブは、ローターアクトクラブを提唱しておりますが、彼らの卒業後の動向を調べるに、日々の仕事に埋もれ、クラブで培った「奉仕の精神」を活かせず、奉仕の機会を失っていることがわかりました。しかし、正規のロータリークラブに入会したくても、時間的な制約や経済的な問題などで断念をしていることに気づきました。

そこで、あまり前向きでなかった「衛星クラブ設立」にもスイッチが入り、ローターアクターが卒業後、将来ロータリアンとなる機会の創出に衛星クラブが活用できないかと考えました。生みの苦しみはこれからもありますが、趣旨に賛同し前向きに集まってくれたメンバーは、平均年齢35歳・男7名・女1名、内RAC出身者6名(内当クラブ3名)と少数精鋭たちの集まりですが、

今後人数が増え、活動を活発に行い立派なロータリアンとして成長してくれることを願っております。





「平成30年7月豪雨」義捐金報告とお詫び

地区代表幹事 **宮里 唯子**
(茨木西RC)

2018年(平成30年)6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に全国的に広い範囲でおきた集中豪雨による被害は、行方不明者を含む死者が230名、半壊・全壊した居宅が約16,000軒に上りました。特に岡山・広島・愛媛の各県は被害が甚大で、全国のロータリアンが固唾をのんで報道を見守ったのではないのでしょうか。

当地区では、2018年7月10日各クラブに義捐金への御協力を要請する一方、被災された西日本8地区に御見舞いメールを差し上げ、各地区の緊急被災者支援に関する取組みについてお尋ね致しました。

結果、各クラブからお預かりました義捐金は総額 8,147,099円にのぼり、義捐金受入れを表明された第2670地区(愛媛・香川・高知・徳島)、第2690地区(岡山・島根・鳥取)、2710地区(広島・山口)に2018年8月20日、各地区2,715,700円の振込みを完了しております。

この度義捐金を地区口座へ拠出頂きました76クラブをはじめ、独自に被災地区支援を提供されたクラブ皆様には、被災地区への暖かいご支援に深く感謝申し上げますと共に、被災者の皆様が一日も早く平穏な生活に戻られることを心からお祈りいたします。

以上、「平成30年7月豪雨」義捐金の御礼と御報告まで申し上げます。

【お詫び】

先に配信致しましたガバナー月信9月号の《クラブ義捐金一覧》では、地区へ義捐金を拠出頂いたクラブ名のみを掲載する予定のところ、不手際で大阪北ロータリークラブの御名前の掲載がございました。大阪北ロータリークラブにおかれましては、クラブ独自で多大な被災地支援を実施されておりますことをここに御報告申し上げ、不手際を心よりお詫び申し上げます。

クラブ義捐金一覧

(※) 姉妹/友好クラブからの義捐金含む

クラブ名	振込金額(円)	クラブ名	振込金額(円)	クラブ名	振込金額(円)
大東	167,000	大阪東	200,000	大阪天満橋	100,000
大東中央	20,000	大阪東淀ちゃやまち	30,000	大阪天王寺	200,000
東大阪	100,000	大阪平野(※)	600,000	大阪帝塚山	50,000
東大阪東	300,000	大阪イブニング	10,000	大阪東南	50,000
東大阪西	15,000	大阪城南	50,000	大阪鶴見	50,000
枚方	50,000	大阪城東	67,000	大阪梅田	30,000
茨木東	70,000	大阪柏原	50,000	大阪梅田東	37,000
茨木西	300,000	大阪北梅田	48,139	大阪アーバン	28,000
池田	30,000	大阪御堂筋本町	50,000	大阪淀川	30,000
池田くれは	33,000	大阪南(※)	600,000	大阪ユニバーサルシティ	300,000
門真	32,000	大阪中之島	163,701	千里	20,000
交野	54,013	大阪難波	42,000	摂津	50,000
香里園	11,000	大阪なにわ(※)	202,000	吹田	100,000
くずは	450,000	大阪西	65,000	吹田江坂	80,000
箕面	33,000	大阪大手前	235,000	吹田西(※)	146,000
箕面千里中央	27,100	大阪大淀	100,000	高槻	58,000
守口	27,000	大阪リバーサイド	54,000	高槻西	31,332
守口イブニング	43,000	大阪咲洲	18,000	豊中	38,000
寝屋川	34,000	大阪西北	30,000	豊中南	30,000
大阪	1,000,000	大阪西南	556,000	豊中千里	43,000
大阪水都	24,300	大阪船場	120,000	八尾	52,483
大阪中央	91,000	大阪心斎橋	50,000	八尾中央	80,000
大阪堂島	100,000	大阪城北	57,821	八尾東	15,210
大阪フレンド	50,000	大阪そねざき	68,000	合計	8,147,099

大学等／地区米山委員会 意見交換会プログラム 報告

米山奨学委員会
委員 **金山 信利**
(大阪城南RC)

日時：2018年7月13日(金) 14:00～16:00

場所：ガバナー事務所 会議室

参加者：山本博史G、宮里唯子地区代表幹事、地区米山奨学委員会、岡部倫正委員長、廣瀬彰久副委員長、生駒伸夫副委員長、大和田雅江、清水久博、金子薫、清水清一、末松大幸、森本尚孝、山田康雄、松下和彦、金山信利

参加校：大阪大学、大阪教育大学、大阪市立大学、立命館大学、大阪音楽大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪工業大学、大阪産業大学、大阪商業大学、追手門学院大学、関西大学、関西医科大学、近畿大学、摂南大学、大阪国際大学、大阪成蹊大学、慈慶医療科学大学院大学、大阪女学院大学、大阪ハイテクノロジー専門学校、慈慶国際交流COM、大阪日本語教育センター

2018年7月13日(金)14時より地区米山委員会と大学・専門学校との意見交換会をガバナー事務所会議室にて開催しました。

当日は、学校関係者では大学19校と専門学校3校の合計22校から総勢26名に参加いただきました。

廣瀬副委員長司会のもと出席者の紹介に引き続き、山本Gから開会のご挨拶をいただき米山奨学事業の充実した広がり、米山奨学生のOB・OGが学友会として自国や全国各地で活躍していることを話されました。

岡部委員長からは挨拶の後、財団設立50周年式典のDVD・パワーポイントを併用しながらロータリークラブの目的、1952年から始まった米山基金と1967年に財団法人化された米山記念奨学会の紹介、奨学生へのサポート体制、指定校応募についての流れ、選考の目安やロータリークラブと奨学生の係わりについて説明があり、その中で岡部委員長より「ロータリーと積極的な交流を持てるかどうか」、「将来ロータリアンとなって、共にロータリー活動を行う資質があるか」、「自国と日本との架け橋となる人材になる為には、先ずロータリー精神を学びロータリー活動の理解者になることが必要である」との趣旨を伝え、学内候補の学生と担当者との連絡網の強化、また学生のコミュニケーション能力の熱意や優秀性、日本の文化と習慣を受け入れ、モラルをもって面接に望むこと、そして奨学生に対するロータリアンの思いを理解する重要性を学校関係者に説明しました。

次に生駒副委員長より指定校についての説明、キャンパスの所在地が2660地区内であるか、そして応募者の国籍のバランス、書類選考から面接までの流れ、例会の出席義務など一般的な質疑応答についての説明があり、学校関係者にロータリーと共に奨学生に対しケアの充実を願うことを伝えました。

最後は岡部委員長の挨拶の後、大学関係者とロータリアンとで名刺交換をして閉会となりました。



青少年交換プログラム 来日学生 関係者オリエンテーション 報告

青少年交換委員会
委員長

生沼 寿彦
(大阪うつぼRC)

日時：2018年7月21日(土) 12:30～14:30

場所：ガバナー事務所

参加者：四宮GE、委員会関係者15名、ホストクラブ・ホストファミリー関係者20名 計36名

ホストファミリー、RC青少年奉仕委員長及びカウンセラー等のホストクラブ関係者並びに学校関係者に対するオリエンテーションを上記の日時・場所にて実施いたしました。

前半は危機管理についての議論がなされ、まずは、ロータリー章典の青少年保護に関係する部分を参照しながら、RIが如何に青少年保護を重要と考えているのかということから紐解き、当地区の「虐待とハラスメント防止に関する方針」等を説明し、いつも取り付けが難航されているボランティア誓約書の必要性を強調しました。特に、そもそもボランティア誓約書が訴訟社会であり、かつ犯罪歴を照会できる米国を念頭に置いたものであることから、犯罪歴の照会制度が存在しない日本での代替策として極めて詳細に作成されているとの経緯を説明し、理解を求めました。

次に、万が一来日学生がホストファミリーやホストクラブと対立した場合でも、カウンセラーだけは全面的に来日学生の味方となることを要求される立場であることから、来日学生とカウンセラーとの信頼関係構築が極めて重要であるところ、カウンセラーの語学能力にもバラつきがあることから地区やROTEXがカウンセラーをサポートする体制があることも説明いたしました。また、RIJYECの保険制度や国民健康保険の加入についても説明をしました。

さらに、4Dルール(No drinking, No drug, No driving and No dating)が問題となった過去の事例を紹介しつつ、地区の方針としては、来日学生とホストファミリーの決定的な対立を回避すべく、ホストファミリーは来日学生を信頼するという基本姿勢を取りつつ、違反の疑いがあると思われる場合には、ホストファミリーが真相究明して注意をするのではなく、必ず地区と相談をして対応を検討し、地区が具体的行為を現認する中で指導をするという役割分担の在り方を説明しました。

参加者からは、家の門限と地区の定める門限が違う場合やRIJYEC保険がカバーする範囲、ボランティア誓約書の内容面などについての質問が出されました。

後半は、二つのグループに分かれて詳細なマニュアルの読み合わせを行い、適宜質疑応答がなされました。

委員長として青少年交換プログラムに携わって頂く方々の熱意に頭が下がるとともに、改めて地区としての明確なメッセージを継続的に伝えていくことの大切さを認識する機会となりました。

クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会
委員

木下 基司
(吹田西RC)

日時：2018年7月28日(土) 14:00～16:00

場所：大阪府社会福祉指導センター 5階

参加者：山本博史DG、岡部泰鑑PDG、松本進也PDG、四宮孝雄DGE、簡 仁一DGN、青山快玄AG、AGE、
ロータリー財団委員会補助金小委員会 今西良介委員長、地区国際奉仕委員会、前田要之助委員長ほか、
地区関係者30名、クラブ国際奉仕委員長67名 合計97名

開会に当たり山本DGは、国際奉仕とは定款第5条の目的第4に『奉仕の理想で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進することと謳われ、ロータリーの理念・目的として明記されている。』と説明され、各ロータリークラブの積極的な国際奉仕参加の呼びかけをされました。

続いて、前田地区国際奉仕委員長の挨拶と今年度の方針説明、今西良介ロータリー財団補助金小委員長による補助金に関するセミナーがありました。

ロータリーの重点分野のひとつとして、『平和と紛争予防／紛争解決』があります。今回は松野明久教授(大阪大学大学院、国際公共政策研究科)をお迎えし、国際紛争の解決～アジア・アフリカ・中東・ヨーロッパを訪ねて～というテーマで講演して頂きました。松野先生の専門は、紛争研究、インドネシア・東ティモール研究で、1999年国連東ティモール派遣団選挙管理官、2003年東ティモール受容真実和解委員会歴史調査顧問を務められました。『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に砦を築かなければならない。』と冒頭で述べられ、様々な経験と実体験をお話頂きました。非戦闘地域に住んでいる我々にとっては紛争地域の現状や、人々がどのようなトラウマを抱えて生きているのか知る由もありません。講演内容はその全てが現実であり、紛争解決後も疲弊した地域と国の経済や貧困化した社会の立て直しにも関与されているとお話に感銘を受けました。

我々が今後どのように関与できるかは模索中ですが、多くの皆さんに関与して頂き地域や国の平和創造に貢献して行きたいと考えています。

次に地区国際奉仕委員会の泉光典副委員長から、トロント大会の報告と、来年6月1日～5日に開催されるドイツ・ハンブルク大会の案内を致しました。

ハンブルク大会はRI第2660地区で150名の参加を目標にしています。6月1日に現地で地区ナイトも開催されます。『奮ってご参加下さい。』

最後に松本進也PDGから、『ロータリーは奉仕する人とそれを育てる団体である。奉仕の受給者がさらに他者に施し、その相互行為と心がロータリアンの理念である。』という趣旨の講評で、本年度のクラブ国際奉仕委員長会議を終了しました。



インターアクト海外研修 in 台湾 報告

インターアクト委員会
委員長

中野 隆二
(大東RC)

日時：2018年8月2日(木)～5日(日)

ホストクラブ：守口イブニングRC

ホスト校：大阪国際大和田中学校・高等学校

訪問地：台湾 台中市

受入クラブ：RI3461地区

参加校：清風学園中学校高等学校、大阪桐蔭中学校高等学校、浪速中学校高等学校、四天王寺高等学校中学校、金光八尾中学校高等学校、相愛中学校高等学校、大阪国際大和田中学校高等学校、高槻中学校高等学校、開明中学校高等学校、アサンプション国際中学校高等学校

参加者：インターアクター 55名、各校顧問12名、ロータリアン46名、看護師 1名(仁泉会病院)、添乗員 2名
総勢116名

本年度のインターアクト海外研修は台湾RI3461地区に訪問させて頂きました。この海外研修ではインターアクトクラブの素晴らしさを広めインターアクターの皆様に国際理解と奉仕の精神を学んで頂く事を目的として、事前に現地での打ち合わせや研修先の現地調査などを繰り返し行ない、タイムスケジュールの無駄を省き当初の宿泊ホテルや各会場の変更そして各プログラム選定など、各事業に明確な目的をもって綿密な会議を行って頂きました。RI3461地区G張光男様(Mintong)を初め、台湾18RCの皆様と各学校関係者の皆様へ心より御礼申し上げます。

8月2日

早朝より関西国際空港での結団式では多くのロータリアンと保護者の方に見送られ出国しました。台湾桃園国際空港に到着後、バスに乗り台中市迄の道中で、高美湿地に寄り台湾海峡沿いの天然資源が豊富で鳥類120種類以上の生息地となり野生動物保護区と広大な自然環境を堪能しました。その後、宿泊でお世話になるエバーグリーンローレルホテル台中にチェックインし翌日発表する歌の練習やフェアウエルパーティで行うドラエモン音頭の練習をしました。

8月3日

早朝より午前中の時間を利用し台湾RCの設営で台中公園から太陽餅博物館そして宮原眼科の歴史研修を行いました。台中公園では現在、台中公園の湖心亭は1999年4月17日に市定古墳として認定され台中市のシンボルとして公園内にデザインされており、ここは日本統治時代の1903年(明治36年)に公園として整備され開園し、総面積26,140坪のうち4,160坪は池となっております。他にも園内には台中神社の参道が残され倒壊した鳥居は不完全な状態で横たわったまま保存されておりました。太陽餅博物館では建物の名称が「安全堂」と呼ばれ、現在はスイーツの販売店で日本統治時代からあり、古い建築物の中でも保存状態の大変良いものの一つで当時は輸入薬品や民生用品を取り扱う店でした。宮原眼科の現在はパイナップルケーキの名店でアイスクリーム等も購入できる飲食店で素晴らしい建築物でした。名店の宮原眼科は日本統治時代の昭和2年(1927年)に、鹿児島県出身の医師、宮原武熊により当時の台中市栄町に開業されたままの院名で残されており午前中の行程で歴史・自然・食・建造物などの文化を周知することが出来ました。そして昼から、台中市立台中第一高級中等学校へ入校し台湾インターアクター145名、ロータリアン75名、顧問10名、総勢230名の方に拍手でお出迎え戴き、交流事業では英語・中国語・日本語を用いて両国を尊重し、歴史・食・人物・その他、プレゼンで互いの文化発表をして、その後はじゃんけんゲームと、だるまさんがころんだゲームをして楽しみ、互いが打ち解けていく姿が印象的でした。そして奉仕活動では、10班に分かれ学校周辺の清掃活動と一中街散策を共に行い汗を流して頑張る姿が頼もしく思いました。そして同学校体育館でウェルカムパーティーを盛会に行き、美味しい食事と親交を深めることができました。

8月4日

早朝より八田興一記念公園から鳥山頭ダムそして921地震教育園區の研修を行いました。八田興一氏は日本東京帝国大学を1910年に卒業後、56歳で亡くなるまでの間、日本人の水利技術者の一人で、当時日本統治下にあった台湾の農林水利事業に大いに貢献された人物で、企画立案から施工竣工まで手掛けた鳥山頭ダムが当地にあり、このダムによって干ばつ地域の嘉南平野が不毛の土地から台湾を代表する耕作地帯へと生まれ変えられました。その貢献は現在の台湾の人々からも尊敬される人物として歴史を知ることができました。921地震教育園區は、1999年9月21日に台湾中部でマグニチュード7.3の大地震が発生し、倒壊した学校や活断層のずれなどがそのままの状態で見られ、地震災害の恐ろしさや日頃から防災に対する危機管理を学ぶ事ができました。宿泊ホテルに戻り親睦最後の夜はフェアウエルパーティにて連絡先を交換するなど友達になる瞬間を楽しみ、最後は練習してきた、ドラえもん音頭を台湾のインターアクターに教えながら踊り楽しい時間を過ごせました。今でも沢山の子供たちが連絡を取り合い、親交を深めていることでしょう。

8月5日

早朝より、宝覺寺に参りました。ここが日本とゆかりが深いと言われる大きな理由のひとつが、こちらにある日本人墓地です。こちらには日本統治時代に台湾で亡くなられた日本人の方々の共同墓地があります。その数はなんと1万4000名とも言われています。第二次世界大戦の敗北で以前の共同墓地が廃棄されそうだったところを、宝覺寺の方が慈悲の心でここに新しく移設して下さい、日本人にしてみれば有難い場所で慰霊祭も毎年行われているお寺でした。そのお寺の一角で解団式を行い次年度海外研修担当校の高槻中学校・高等学校へインターアクト旗の引継ぎを行いました。その後、前年度の意向でお聞きしておりました、お土産物や現地物産品のショッピングを台中カルフルで時間をとり、各自フードコートで昼食も兼ねて、台中の文化を周知し皆様に笑顔で喜んで頂きました。それから桃園国際空港から関西国際空港へ到着し海外研修の一番の課題でもある115名の皆様が事故や怪我をすることなく無事に終えることが出来ました。この度、御同行して頂きました各ボランティアと各顧問そしてJTB添乗員の皆様へ心より感謝と御礼を申し上げます。



ロータリー財団 グローバル奨学生 渡航前オリエンテーション 報告

ロータリー財団委員会 奨学金小委員会
委員長

柳山 稔
(東大阪西RC)

当地区では昨年末に厳正なる書類及び面接選考を経て下記グローバル奨学生候補者1名を決定し、本年無事にロータリー財団本部より承認されました。

高城 大吾 (たかぎ だいご) 重点分野：平和と紛争予防／紛争解決
渡航先：英国／サセックス大学 実験心理学
代表提唱クラブ：東大阪RC / Brighton RC

まず、この奨学金は文字通りグローバル補助金を充当致します。

そして奨学生は渡航前に地区が実施する渡航前オリエンテーションへの参加が義務付けられており、2018年8月4日ホテルニューオータニ大阪にて歓送会を兼ねて実施致しましたので、ここにご報告申し上げます。

オリエンテーションでは、山本ガバナー、そして提唱クラブである東大阪RC 岩佐会長のご挨拶に始まり、奨学金小委員会より、①奨学生の責務、②ロータリー及びロータリー財団について、③グローバル奨学金について、④出発前の準備、⑤海外滞在の心得、⑥ハラスメントに関するロータリーの方針、⑦帰国後に行うべきこと、⑧ロータリー学友についての説明を行いました。

その後は奨学生である高城さんから自己紹介を兼ねたプレゼンテーションを実施して頂き、彼のこれまで積み重ねてきたキャリアと今後に対する強い志に参加者全員が感銘を受けました。

続いての歓送会においても終始和やかに暖かい雰囲気の中で皆が親睦を深め、まもなく渡航する高城さんに対して力強い励ましの言葉が送られました。

また、当日は昨年度派遣奨学生であり帰国したばかりのバッチィー亜夢斗君も参加して下さり、帰国報告と共にこの一年間の報告をして頂き、大きく成長された彼の勇姿に感動した次第です。

最後に、まもなく次年度渡航を前提とした奨学生候補者の選考の時期を迎えようとしています。奨学金小委員会として地区内クラブの皆様よりグローバル奨学生候補者のご推薦をお願いすると共に、皆様からの財団ご寄付のおかげをもってこの奨学金事業が我が国の将来のリーダーを育成しているということをお含みおき頂き、引き続き事業へのご理解と今後ますますのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【2017-18年度選考 グローバル奨学生プロフィール】

氏名：高城 大吾 6重点分野：平和と紛争予防/解決
代表提唱クラブ：(RID2660) 東大阪RC および (RID1145) ブライトンRC
留学先：英国 サセックス大学 (修士課程：実験心理学)
留学期間：2018年9月～2019年9月

【ご挨拶…2018-19年度 グローバル奨学生 高城大吾】

この度は、グローバル奨学生として採用いただきまして、誠にありがとうございます。

本年9月から、英国サセックス大学で実験心理学を学ぶ予定です。サセックス大学の心理学部は、英国で上位5の大学として選出されるほど、質の高い研究で知られています。

私は、民間企業を経て、7年間人道支援事業に従事しました。支援実務の経験を通し、心理学の専門性を高めることで、質の高い人道支援実施に繋がると考えたため大学院への進学を決めました。そのきっかけを与えたのは、シリア紛争下での支援活動でした。紛争が与える心的外傷の深刻さを目の当たりにしたからです。爆撃や銃撃で親類を亡くされた方、自らの手でご家族の遺体を埋葬された方、息子が数年間拘束されている方、拷問を経験された方など、シリアの人々は、7年以上もの間、心的外傷につながる身の危険に晒され続けています。

心的外傷を負われた方への心理社会的ケアの支援は、「被災者の保護」という分野で扱われています。この分野において、シリアでは、1350万人の人々が保護を必要としている一方で、730万人しか支援を受けることができず、十分な支援が行われていません(人道支援対応計画2017年)。また、心的外傷を受けた方が多いシリアでは、「被災者の保護」分野の支援のみでなく、全ての支援活動において、被災者の心理面に配慮した支援が求められます。このような背景から、大学院で心理学の基礎知識を身につけることで、心的外傷に関連する支援ニーズに寄与したいと考えるようになりました。

大学院卒業後には、人道支援業界で実務者として貢献し、いただいた奨学金を社会に還元していきたいと思えます。今回、グローバル奨学金をいただけたことで、大学院への進学を実現させることができました。ロータリー財団の皆様にご心より感謝いたします。

これからの一年間、責任ある行動を取り、学業および研究に励みたいと思えます。



地区大会のご案内

大会1日目
1st day

2018年12月7日 金

13:00▶13:20 **大会決議案上程／規定審議会報告**(立野PDG)(大阪国際会議場／特別会議場)

13:20▶15:00 **会長・幹事懇談会**(大阪国際会議場／特別会議場)

奨学生発表 ●米山奨学生(2016学年度)講演

・張 淵(チョウエン)(受け入れクラブ：大阪城南RC)

●ロータリー財団グローバル奨学生(2017-18年派遣) 帰国報告

・バツティエ 亜夢斗(代表提唱クラブ：大阪西南RC) ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 紛争学修了

・渡辺 栞(代表提唱クラブ：大阪東RC) ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 開発学修了

15:15▶17:15 **特別講演「ロータリーの柔軟性Flexibilityと多様性Diversity」**

(大阪国際会議場／特別会議場)

国際ロータリー第2500地区 2010・2013規定審議会代表議員

小船井 修一 パストガバナー(釧路RC)

特別対談「これからのロータリーを考える」(大阪国際会議場／特別会議場)

RID2500 釧路RC

RID2660 大阪東RC

小船井 修一 パストガバナー×片山 勉 直前ガバナー

＊

18:00▶20:30 **RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会**

(リーガロイヤルホテル／光琳の間)

小松亮太 SPECIAL LIVE 『タンゴの夕べ』

小松亮太(こまつりょうた) プロフィール

1973年 東京生まれ。98年、ソニーミュージックよりCDデビューを果たして以来、国内はもとより、カーネギーホールやタンゴの本場ブエノスアイレスなどで、タンゴ界における記念碑的な公演を実現している。アルバムもすでに20枚以上を制作。「ライブ・イン・TOKYO～2002」がアルゼンチンで高く評価され、03年にはアルゼンチン音楽家組合(AADI)、ブエノスアイレス市音楽文化管理局から表彰された。08年にはアストル・ピアソラの幻のオラトリオ「若き民衆」を東京オペラシティで日本初演。13年にはピアソラの「ブエノスアイレスのマリア」をピアソラ元夫人の歌手アメリータ・バルターと共演し、ライブアルバムをリリース。タンゴ界にとどまらず、ソニーのコンピレーション・アルバム「image」と、同ライブツアー「live image」には初回から参加。作曲活動も旺盛で、フジテレビ系アニメ『モノノ怪』OP曲「下弦の月」、TBS系列「THE世界遺産」OP曲「風の詩」、映画「グスコブドリの伝記」(ワーナーブラザーズ配給・手塚プロダクション制作)、「体脂肪計タニタの社員食堂」(角川映画)、NHKドラマ「ご縁ハンター」のサウンドトラックなど多数を手掛けている。

これまでのタンゴ界以外での共演者は、ミッシェル・ルグラン、パホフォンド、イジョク(Jack Lee)、ジェイク・シマブクロ、プロドスキー・カルテット、ミルバ、上妻宏光、石井一孝、NHK交響楽団、小曽根真、織田哲郎、佐渡裕、葉加瀬太郎、宮沢和史など。タンゴ界ではビクトル・ラバジェン、ラウル・ラビエ、マリア・グラニーニャ、オスバルド・ベリンジェリ、ファン・カルロス・コペス、藤沢嵐子など。

15年にリリースした大貫妙子との共同名義アルバム「Tint」は、第57回輝く!日本レコード大賞「優秀アルバム賞」を受賞した。

今年、デビュー20周年を迎える。2018年度より洗足学園音楽大学客員教授。

オフィシャルサイト <https://ryotakomatsu.net/>





インスピレーションになろう



ホストクラブ：大阪南ロータリークラブ

大会2日目
2nd day

2018年12月8日 土

12:15 ▶ 友愛の広場「インスピレーションに出会おう！」(大阪国際会議場／5Fホワイエ)

12:30 ▶ オープニングセレモニー

「今年度の友愛の広場のテーマは、クラブ同士や協力団体とのプロジェクト・マッチングです。人道奉仕活動で定評のある団体(奉仕活動の協力団体)が出展し、ロータリークラブと協力して実行可能なプロジェクトを紹介したり、奉仕活動のアイデアを提供します。クラブの社会奉仕委員長や国際奉仕委員長は、次年度以降の活動のヒントが見つかるはず。是非お立ち寄り下さい。」



司会／八木早希(やぎ・さき) フリーアナウンサー。1978年アメリカ・ロサンゼルスで生まれ、2001年同志社大学文学部英文学科卒業後、毎日放送入社、2011年フリーへ転身。日本テレビ「NEWS ZERO」キャスターを3年間務め、政治家、著名人、ハリウッド俳優らへのインタビューなど国内外の取材多数。講演活動も行う。2011年～四条畷学園大学客員教授、2015年4月～2016年3月同志社大学客員教授。現在のレギュラー出演番組／NHK「ぐるっと関西おひるまえ」、KTV「胸いっぱいサミット」、BSフジ「旅するハイヴィジョン 全国鉄道百線」、サンテレビ「歯っぴいライフ」他 連載：「GINGER Web」 著書多数。

＊

13:00 ▶ 13:30 ▶ 開場 ▶ 本会議開会 (大阪国際会議場／メインホール)

15:40 ▶ 休憩

15:55 ▶ 17:30 記念講演・抽選会 (大阪国際会議場／メインホール)

国谷裕子 SPECIAL LECTURE

『新しいモノサシで考えよう
～私が、いま伝えたい持続可能な社会』

国連が採択した2030年までに達成する持続可能な社会のための開発目標SDGs。今年は国をあげて実践する初年度となり、また beyond2020 に向けて企業が取り組むべき目標になっていることからこのテーマを取り上げます。

2017年5月より国連食糧農業機関(FAO)の親善大使となり、SDGsを推進している第一人者の国谷さんにご登壇いただき、SDGsとはどんな目的で何が大切か? また企業にとってのビジネスチャンスなどを解説いただき、今後のロータリーに期待することをお話します。

国谷裕子(くにやひろこ) プロフィール

東京芸術大学理事、慶応義塾大学特任教授／FAO(国連・食糧農業機関)親善大使(日本担当)
大阪府生まれ。アメリカのブラウン大学卒業。NHK衛星放送「ワールドニュース」キャスター。1993年から2016年3月までNHK「クローズアップ現代」キャスター。1998年放送ウーマン賞、2002年菊池寛賞、2011年日本記者クラブ賞、2016年ギャラクシー賞特別賞受賞、2017年津田梅子賞など多数受賞。 著書「キャスターという仕事」(岩波新書)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





友愛の広場 展示ブース 出展者募集

地区大会実行委員会
委員長

小谷 公穂
(大阪南RC)

地区大会
幹事

新開 隆浩
(大阪南RC)

現在、来る2018年12月7日(金)と8日(土)の地区大会に向け、実行委員会一同、現在鋭意準備を進めております。今年度の友愛の広場は「インスピレーションに出会おう！」をテーマに、クラブと協力団体とのプロジェクト・マッチングを目的として展開致します。

地区大会2日目、本会議会場の大阪国際会議場メインホール前ホワイエに約20の展示ブースを設け、協力団体にご出展いただき、奉仕活動のアイデアやロータリークラブと協力して実行可能なプロジェクトをご紹介いただく事で、参加ロータリアンの皆様には、次年度以降の奉仕活動のヒントを見つけていただける場にしたいと考えております。

つきましては、友愛の広場にご出展いただける協力団体を募集したいと思います。これまで各クラブ・地区委員会の奉仕活動で協働された事のある優良な協力団体をご紹介いただけますよう、お願い申し上げます。

別紙、募集要項をご参照いただき、ご不明な点は、ガバナー事務所までお問い合わせください。

過去にロータリークラブや地区委員会と協働のプロジェクトが無い場合でも、クラブ・地区委員長のご推薦があれば出展可能です。ただし、展示ブースに限りがございますので、ご希望にそえない場合もございますので、ご了承頂きますようお願い申し上げます。

2018-19 年度地区大会 友愛の広場 【出展募集要項】

【申込締切：2018年9月28日（金）】

国際ロータリー第2660地区は、地区内81クラブ 約3,600名のロータリアンとともに2018-19年度地区大会を12月7日、8日 大阪国際会議場にて開催いたします。

この度、地区大会のプログラムのひとつ、友愛の広場におきまして、地区内81クラブあるロータリークラブの人道奉仕活動と相互協力していただける協力団体の展示ブースへの出展を募集致します。

開催概要

名称： 国際ロータリー第2660地区 2018-19年度地区大会 友愛の広場

主催： 国際ロータリー第2660地区

会場： 大阪国際会議場 5F ホワイエ

日程： 2018年12月7日（金）、8日（土）

※出展日時は12月8日（土）12：15～16：00

参加予定： 約2000名

テーマ： 「インスピレーションに会いましょう！」

展示詳細 ※ 出展料は無料です。

仕様： 展示小間スペース：間口1.8m×奥行0.9m×高さ2.1m（予定）
団体名板は用意いたします。

備品： 展示テーブル・電源の貸し出しがあります。申込書に希望をご記入下さい。
展示テーブル幅1.8m×奥行0.9m×高さ0.7m（予定）

出展規約

出展者は過去にロータリークラブ、地区委員会とプロジェクトをしたことがある、もしくはロータリークラブからの推薦を受けた団体に限ります。物販・募金活動は禁止と致します。

各出展物の管理は、出展者が持つものとし、展示期間中の出展物の盗難・紛失・災害等の損害に対して、補償等の責任は一切負いませんので、ご了承ください。

お申込み方法

出展申込書に必要事項を明記の上、活動内容のわかる資料、団体資料と併せて

国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所までメール添付、FAX、ご郵送でご提出ください。

出展の可否につきましては、後日ご連絡させていただきます。

出展申込み締め切りは、2018年9月28日（金）です。尚、展示ブーススペースに限りがありますので、定数に達し次第、締め切らせていただきます。（出展申込書は各クラブにお送りしております）

国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所（担当：杉本）

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F

TEL:06-6261-2660 FAX:06-6261-2660 E-mail:sugimoto@ri2660.gr.jp

地区ローターアクト 活動報告

1. 「第一回地区献血」 報告

毎年ローターアクト(以下一部「RA」と表記)では年2回、献血者数が減少する夏と冬に日本赤十字社様の協力で、大阪府下5地点で献血活動を行っております。

■開催概要

1. 開催日時 2018年7月29日(日) 12時~16時※
※台風12号の影響により例年より2時間遅らせて開始
2. 場所 イオン大日前 京橋駅前 樟葉駅前 梅田阪急三番街 近鉄布施駅前
3. ホストクラブ 東大阪ローターアクトクラブ(以下「RAC」と表記)
4. 参加者 179名(うちロータリアン59名)

「私たちのわずかな“勇気”と“時間”で“命をつなぐ”ことができる身近なボランティア」として献血の呼びかけを行い、自らも献血を行う活動です。今回の目標は採血者数250名と掲げ、台風一過の炎天下の中、ロータリーファミリー丸となって活動しました。

■結果

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① イオン大日前 | 受付者数 78名、採血者数 70名 |
| ② 京橋駅前 | 受付者数 83名、採血者数 69名 |
| ③ 樟葉駅前 | 受付者数 78名、採血者数 66名 |
| ④ 梅田阪急三番街 | 受付者数 53名、採血者数 44名 |
| ⑤ 近鉄布施駅前 | 受付者数 71名、採血者数 62名 |
| 合計 | 受付者数 363名 採血者数 311名 |

(目標に対し+61名)

初献血者数も5地点合計38名であり、若者の献血離れから採血者数の減少が社会問題となる中、同世代のRACの呼びかけが奏功したと、赤十字社の方からも御礼の言葉をいただきました。



当日は「平成30年7月豪雨災害義援金」も合わせて募り、5地点の合計29,020円は全額日本赤十字社を通じ寄付いたしました。また山本ガバナーには5地点全てを巡回していただき、RAC発のロータリーファミリーの活動として、温かくご協力いただきました。誠にありがとうございます。

当地区の献血活動は、他の友好地区からも非常に注目されています。当日は隣接する2640地区の左近地区RA代表を始めRAC、ロータリアンの皆様、2650地区の庄司地区RA代表他RACの皆様にも活動にご協力いただき、2680地区の姫路RACと当地区大阪天満橋RACは毎年献血活動をお互いの地域で実施する等、地域を超えて活動が伝播しています。今後も継続して活動していきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いたします。



2. 「関西四地区情報交換会・交流会」のご案内

来る 10 月 14 日は、毎年行われる関西四地区情報交換会・交流会が実施されます。
(国際ロータリー第 2640 地区 RA(大阪南部・和歌山)、第 2650 地区 RA(福井・滋賀・京都・奈良)、第 2680 地区 RA(兵庫)地区と当地区ローターアクト) 今年度は、当地区がホスト地区となり、有志メンバーと運営を進めて参りました。テーマは「#think RAXPO」2025 年の開催が期待される EXPO2025 の機運醸成に資する、未来社会をローターアクトがデザインするというテーマです。現在鋭意準備中です。皆様、是非ご参加ください。



※詳細については別途ご案内いたします。

3. 「リーダーシップフォーラム・新人研修会」報告

毎年ローターアクトでは、6 月に以下のような内容で地区行事を行なっております。

- ① 7 月から始まる年度のターゲットや地区の方針発表
- ② 新年度の理事役員へ向け「クラブ運営について」
- ③ 入会 1 年未満の会員へ向け「ローターアクトとはなにかについて」

■開催概要

1. 開催日時 2018 年 6 月 17 日 (日)
2. 場 所 大阪市立西区民センター
3. 参加者 109 名

ローターアクトにとっては、2017-2018 年度最後の地区行事であり、冒頭の挨拶では三窪地区 RA 代表 (当時) の思わず涙する想



いのこもった開会挨拶、片山ガバナー (当時) にも心温まるご挨拶を頂戴して始まったリーダーシップフォーラム・新人研修会でした。前半の[全大会]では、今年度の地区ターゲット「CHALLENGER →未来につなぐ挑戦→」の発表、活動方針や、クラブ表彰基準の発表を行いました。またホストクラブの大阪淀川 RAC がリーダーシップ育成を目的に企画したグループワ



ーク「株式会社〇〇の考案」を行いました。参加したローターアクト、ロータリアンがそれぞれ知恵を絞った会社を考案し、大変盛り上がりました。

次に行われた[分科会]では、“理事役員部門”と“委員会兼新人部門”に分かれ、“理事役員部門”では、会長・幹事・会計の業務やクラブ運営について、“委員会兼新人部門”ではそれぞれの委員会の目的を確認し、例会の企画をグループ形式で行いました。1 年間の集大成であり、更なる飛躍へ向けた有意義な一日となりました。

My ROTARY アカウント登録率65%に向けて ～ロータリー賞 少なくとも60%の会員が、My ROTARYから生年月日を入力する～

広報・情報・公共イメージ向上委員会
委員長

樋口 信治
(大阪RC)

国際ロータリー第2660地区 2017-22年(5カ年)地区ビジョンに、マイロータリーの登録率65%、クラブセントラルの活用率75%を目指すことが規定されました。

下記の通り、2018年7月19日時点の登録人数は1,729名で47.8%となっています。会員数が変わらないとして65%の登録率を達成するには622名の新規登録を行って2,351名の登録にしなければいけません。現時点で65%超のクラブは81クラブ中12クラブですので、残りの69クラブに65%超の登録率を目指してPRを行っていく必要があります。

「広報・情報・公共イメージ向上委員会」としては、My ROTARY登録済の方にマイプロフィールにある「生年月日」ほかの個人情報入力をして頂くことをお勧めしています。

現在アカウントを登録されている会員から、登録されていない会員に、登録のお願いをして頂くことが、登録率向上に繋がるものと考えます。しかし、登録はしているがMy ROTARYをPRするまで理解出来ていないと言われる方が多いのが実態だと考えます。

下記のように、My ROTARYのマイプロフィールにある情報をご覧頂いて「生年月日」が正しく入力されているかどうかを確認頂き、必要な修正をして頂きたいとお願い致します。そして「ロータリークラブ・セントラル」にアクセス頂き、ダッシュボードにある「年齢の傾向」グラフが、正しく表示されているかどうかを確認して頂きたく思います。

以上の作業をして頂くだけでも、My ROTARYシステムについて理解が進み、未登録者に登録PRをして頂けるものと考えます。

当委員会は「ロータリアン一人一人が広報マン」をモットーにしております。是非、多くのクラブでMy ROTARYアカウント登録者が、My ROTARY登録の広報マンとして、登録PRをして頂けますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

●マイプロフィール「生年月日」修正 → 「ロータリークラブ・セントラル」閲覧手順

1. My ROTARYアカウントにログインし、ホームページにある「プロフィールのページへ」
2. 連絡先他項目の最後に「生年月日」があります。正しくない場合は編集から修正する。
3. My ROTARYホームページに戻り、役立つツールにある「ロータリークラブ・セントラル」へ
4. ダッシュボードが開き、ご自身のRCの会員情報他がグラフ表示されます。「年齢の傾向」グラフをご覧下さい。未報告が減少している事を確認下さい。



2018-19年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2018年8月度]

クラブ名	会員数	登録人数	%
池田	31	11	35.5%
池田くれは	33	32	97.0%
箕面	29	18	62.1%
箕面千里中央	21	4	19.0%
大阪水都	45	10	22.2%
大阪中央	46	46	100.0%
大阪北梅田	64	29	45.3%
大阪北	189	121	64.0%
大阪大淀	40	22	55.0%
大阪そねざき	29	5	17.2%
大阪梅田	34	13	38.2%
大阪梅田東	37	14	37.8%
豊中	36	24	66.7%
豊中南	21	5	23.8%
豊中千里	37	12	32.4%
合計	692	366	52.9%

クラブ名	会員数	登録人数	%
茨木	30	16	53.3%
茨木東	37	2	5.4%
茨木西	29	19	65.5%
大阪東淀ちゃやまち	25	5	20.0%
大阪淀川	27	5	18.5%
千里	29	15	51.7%
千里メイプル	20	5	25.0%
摂津	33	8	24.2%
新大阪	34	28	82.4%
吹田	61	26	42.6%
吹田江坂	27	12	44.4%
吹田西	48	14	29.2%
高槻	51	29	56.9%
高槻東	38	24	63.2%
高槻西	19	11	57.9%
合計	508	219	43.1%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大東	40	19	47.5%
大東中央	20	6	30.0%
枚方	50	18	36.0%
門真	30	9	30.0%
交野	35	10	28.6%
香里園	15	8	53.3%
くずは	76	41	53.9%
守口	43	5	11.6%
守口イブニング	23	2	8.7%
寝屋川	39	6	15.4%
大阪東	119	65	54.6%
大阪城東	37	17	45.9%
大阪城北	55	32	58.2%
大阪鶴見	34	27	79.4%
合計	616	265	43.0%

クラブ名	会員数	登録人数	%
東大阪	73	40	54.8%
東大阪東	64	41	64.1%
東大阪西	31	5	16.1%
東大阪中央	18	17	94.4%
東大阪みどり	21	6	28.6%
大阪柏原	27	10	37.0%
大阪御堂筋本町	44	25	56.8%
大阪難波	58	30	51.7%
大阪なにわ	14	3	21.4%
大阪ネクスト	27	17	63.0%
大阪南	178	138	77.5%
八尾	62	26	41.9%
八尾中央	12	7	58.3%
八尾東	27	5	18.5%
合計	656	370	56.4%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪堂島	40	13	32.5%
大阪フレンド	21	11	52.4%
大阪みおつくし	8	7	87.5%
大阪西北	42	13	31.0%
大阪リバーサイド	32	20	62.5%
大阪船場	38	23	60.5%
大阪心斎橋	39	25	64.1%
大阪西南	109	51	46.8%
大阪ユニバーサルシティ	34	22	64.7%
大阪アーバン	29	29	100.0%
大阪うつぼ	37	21	56.8%
大阪西	101	54	53.5%
合計	530	289	54.5%

クラブ名	会員数	登録人数	%
大阪	258	35	13.6%
大阪イブニング	15	8	53.3%
大阪平野	46	35	76.1%
大阪城南	46	16	34.8%
大阪中之島	30	29	96.7%
大阪大手前	27	5	18.5%
大阪咲洲	18	4	22.2%
大阪東南	34	26	76.5%
大阪天満橋	51	17	33.3%
大阪天王寺	46	20	43.5%
大阪帝塚山	43	25	58.1%
合計	614	220	35.8%

	会員数	登録人数	%
2018年 7月19 日	3616	1729	47.8%

22018-19年度のための 地区研修・協議会 決算報告書

収入の部

内 容	収入額
10名以下のクラブ @20,000× 2RC	40,000
29名以下のクラブ @70,000×23RC	1,610,000
30名以上のクラブ @90,000×57RC	5,130,000
利 息	
合 計	6,780,000

支出の部

項 目	内 訳	金 額	内 訳
会場費	会 場	1,512,432	OICC会場利用料 (9:00~18:00)
	看板その他	659,448	誘導表示・垂れ幕他 (アルコット)
	前垂れ (60枚)	20,736	(株) 阿波弥
	音響・照明・備品など	1,082,617	OICC音響・照明・附帯備品他
	当日飲物	342,692	ミネラル330M・ベッドー式・取消料 その他
	小 計	3,617,925	
会合費	室 料	24,030	事前説明会会場費 (大阪府社会福祉会館)
	備 品	2,100	マイク 1,050円×2本
	小 計	26,130	当日配布冊子他
印刷費	プログラム冊子	581,040	
	アテンダンスカード	71,280	
	小 計	652,320	
記録費	RI会長動画編集	410,400	日本語吹替ビデオ (MBS企画)
	記 録	297,000	撮影/編集及びDVD製作 (株) 福沢ビデオプランニング
	サイト追加製作費	108,000	報告書のサイト追加製作 (株) 協電業商会
	小 計	815,400	
謝礼金	ピアノ、歌唱	20,000	
	講師代	37,128	刀根 荘兵衛氏 (交通費、昼食代、土産代)
	小 計	57,128	
人件費	G事務所給与負担金	1,000,000	
	小 計	1,000,000	
雑 費	その他費用	5,076	振込手数料
		19,722	資料コピー代
		27,200	損害保険料
	小 計	51,998	
合 計		6,220,901	
収入合計		6,780,000	
支出合計		6,220,901	
差 額		559,099	



2018年7月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期	7月末会員数		入会	退会	増減	例	出席率	ホームクラブ
		初会員数	全員	女性	者数累計	者数累計				
I M 第1組	池田	31	31	2	0	0	0	3	90.80	87.36
	池田くれは	31	33	4	2	0	2	4	94.48	92.09
	箕面	29	30	0	1	0	1	2	85.20	78.10
	箕面千里中央	21	21	3	0	0	0	4	90.18	85.85
	大阪水都	45	48	17	3	0	3	2	72.09	62.79
	大阪中央	46	46	5	0	0	0	4	88.04	82.16
	大阪北梅田	63	65	7	2	0	2	4	71.42	67.83
	大阪北	188	189	0	1	0	1	4	84.01	66.74
	大阪大淀	40	40	0	0	0	0	4	88.51	81.08
	大阪そねざき	29	29	20	0	0	0	4	87.03	81.25
	大阪梅田	33	34	6	1	0	1	4	90.79	76.89
	大阪梅田東	37	37	0	0	0	0	4	81.45	72.05
	豊中	36	36	2	0	0	0	4	86.32	71.88
	豊中千里	37	37	4	0	0	0	4	79.07	72.21
	豊中南	21	21	2	0	0	0	4	75.24	71.49
小計	687	697	72	10	0	10		84.31	76.65	
I M 第2組	茨木	28	30	4	2	0	2	4	90.28	80.20
	茨木東	37	37	0	0	0	0	4	74.99	65.43
	茨木西	27	29	5	2	0	2	4	89.66	85.57
	大阪東淀ちゃやまち	25	25	3	0	0	0	3	81.48	77.78
	大阪淀川	28	27	5	0	1	-1	3	89.01	64.96
	千里	29	31	2	2	0	2	4	80.20	70.13
	千里メイプル	20	20	4	0	0	0	4	86.84	76.32
	摂津	33	34	2	1	0	1	4	86.48	78.44
	新大阪	34	34	1	0	0	0	4	87.43	83.48
	吹田	61	61	8	0	0	0	4	96.61	89.61
	吹田江坂	27	28	1	1	0	1	3	100.00	94.66
	吹田西	48	48	2	0	0	0	4	100.00	93.07
	高槻	51	51	6	0	0	0	4	90.68	80.38
	高槻東	38	38	2	0	0	0	4	92.47	90.46
	高槻西	19	19	0	0	0	0	4	94.74	82.89
小計	505	512	45	8	1	7		89.39	80.89	
I M 第3組	大東	38	40	0	2	0	2	4	98.61	87.67
	大東中央	20	20	10	0	0	0	3	88.42	72.03
	枚方	49	50	1	1	0	1	4	86.03	75.44
	門真	30	30	6	0	0	0	3	90.88	80.49
	交野	34	35	1	1	0	1	3	84.65	76.95
	香里園	15	15	0	0	0	0	3	92.85	88.09
	くずは	74	76	2	2	0	2	4	67.60	65.20
	守口	43	43	5	0	0	0	3	85.37	78.31
	守口イブニング	23	23	4	0	0	0	3	86.96	82.61
	寝屋川	39	39	4	0	0	0	3	87.60	81.39
	大阪東	117	119	0	2	0	2	4	93.33	77.82
	大阪城東	37	37	7	0	0	0	4	86.83	86.83
	大阪城北	54	55	5	1	0	1	4	75.91	71.03
	大阪鶴見	34	34	3	0	0	0	4	81.08	77.68
	小計	607	616	48	9	0	9		86.15	78.68

I M 組	クラブ名	7月期	7月末会員数		入会	退会	増減	例	出席率	ホームクラブ	
		初会員数	全員	女性	者数累計	者数累計					会数
I M 第4組	東大阪	73	73	0	0	0	0	4	88.91	78.75	
	東大阪東	62	64	4	2	0	2	3	79.28	67.84	
	東大阪西	31	30	0	0	1	-1	4	88.68	77.95	
	東大阪中央	18	18	0	0	0	0	4	97.06	94.28	
	東大阪みどり	21	21	0	0	0	0	4	73.81	53.57	
	大阪柏原	27	27	2	0	0	0	3	94.76	93.33	
	大阪御堂筋本町	44	44	2	0	0	0	3	86.32	70.94	
	大阪難波	58	58	0	0	0	0	4	81.40	75.10	
	大阪なにわ	14	14	2	0	0	0	5	93.32	91.66	
	大阪ネクスト	27	27	8	0	0	0	3	54.32	50.61	
	大阪南	170	170	7	0	0	0	4	82.90	72.61	
	八尾	58	62	0	4	0	4	4	88.24	85.38	
	八尾中央	12	12	0	0	0	0	4	84.09	84.09	
	八尾東	27	27	1	0	0	0	3	75.33	72.15	
	小計	642	647	26	6	1	5		83.46	76.30	
I M 第5組	大阪堂島	39	39	3	0	0	0	2	84.41	81.25	
	大阪フレンド	21	19	3	0	2	-2	3	85.71	68.35	
	大阪みおつくし	8	11	6	3	0	3	2	67.00	54.00	
	大阪西北	42	41	0	0	1	-1	4	87.54	81.30	
	大阪リバーサイド	31	32	6	1	0	1	4	99.07	86.28	
	大阪船場	36	38	2	2	0	2	4	96.00	82.75	
	大阪心斎橋	38	39	0	1	0	1	4	94.18	83.81	
	大阪西南	109	109	29	0	0	0	4	85.89	66.74	
	大阪ユニバーサルシティ	34	34	4	0	0	0	4	76.47	68.38	
	大阪アーバン	29	29	5	0	0	0	4	75.71	74.84	
	大阪うつぼ	36	37	4	1	0	1	4	93.05	83.05	
	大阪西	100	101	0	1	0	1	4	85.57	75.53	
	小計	523	529	62	9	3	6		85.88	75.52	
	I M 第6組	大阪	258	262	2	4	0	4	4	68.61	51.81
		大阪イブニング	15	15	3	0	0	0	3	82.22	71.11
大阪平野		44	46	2	2	0	2	3	98.49	93.87	
大阪城南		46	47	0	1	0	1	3	100.00	90.20	
大阪中之島		29	30	1	1	0	1	4	95.68	81.03	
大阪大手前		27	27	4	0	0	0	4	85.00	80.09	
大阪咲洲		18	18	1	1	1	0	4	83.32	81.93	
大阪東南		34	34	1	0	0	0	4	72.80	65.44	
大阪天満橋		50	51	0	1	0	1	4	85.87	83.04	
大阪天王寺		46	48	1	2	0	2	4	90.52	82.79	
大阪塚山		43	44	4	1	0	1	5	83.03	81.26	
小計		610	622	19	13	1	12		85.96	78.42	

合計	クラブ名	7月期 初会員数	全員	女性	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	出席率	ホームクラブ 出席率
	81	3,574	3,623	272	55	6	49	85.9	77.7

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年9月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
担当 第3ゾーン

■ 「RI第3ゾーン戦略計画推進セミナー」

本セミナーはRC、RRFC、RPIC、3部門のコーディネーターが毎年度交代で幹事役を務め、西日本の主要都市で7月初旬に開催しております。本年度はRPIC部門が主幹事となり第3ゾーン11地区所属の125名の地区リーダー・クラブリーダーが参加し、大阪で開かれました。石黒慶一・三木明両RI理事、北清治TRF管理委員、水野功会員増強プロジェクトリーダー、高島凱夫RC、田村泰三RRFC、松本祐二EPNZC、大室篤E/MGA、及び第3ゾーン11地区ガバナーが、プレゼンターとなり、各担当分野の「新年度戦略計画推進」についてご講演頂きました。

今回のセミナー基調講演者、水野功様には日本の全地区が直面しております会員基盤弱体化の課題と、その対応策、そして「日本ロータリーの3ゾーン復活」に向けた戦略計画についてお話し頂きました。そして締め括りとして、第3ゾーン各地区のそれぞれのガバナーの皆様へ、担当地区の「戦略計画」の進め方についてお話し頂きました。各地区がおかれた現況は様々です。その対応策も様々です。各地区ガバナーの戦略計画推進についてのバラエティに富んだプレゼンテーションは、セミナー参加者のRIリーダー、地区リーダー、クラブリーダーにとり、今後の地区運営、クラブ運営に大きな参考になりました。特に既存クラブでの会員純増がなかなか難しい中で、RAC卒業生などの若年層や、職務の第一線からリタイヤした年代層の新会員を「衛星クラブ」のメンバーとして迎え、会員基盤拡大に動きだしたD2660や、D2670の事例発表は、新時代の動きとして注目されました。

次年度の第3ゾーンセミナーは高島凱夫RCを主幹事として、2019年7月13日に大阪で開催予定です。次年度も各地区から多数の皆様にご参加頂きたいと願っております。



第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄（大阪中央RC）

■ 「会員増強への道のり」

1: 受け入れクラブ自身の意識改革、環境整備を

先ずすべての面で魅力あるクラブであらねばならない。時代にマッチし、戦略計画に則り、活発な奉仕活動が実行され、会員同士の交流や親睦が図られ、地域住民から信頼されることが何よりも大事である。

2: 質より量を

会員増強についていつの世でも質だ、量だと言う不毛の論争を聞くが、私は量を重視したい。入会後クラブのアフターケアの有無でどんな新会員でも今後の運命は決まると思う。特に大切なのはロータリーの本質である奉仕の理念を少しでも理解し、古い会員との親睦の中でロータリーに慣れ、楽しんでもらうことが大切だ。

3: 女性会員を増やそう

世界の女性会員比率は既に20%強、日本のそれは6%強と大きく遅れる。各クラブとももっと女性会員獲得に積極的に動くべきだ、開拓の余地は充分にある。日本で女性会員数がせめて全体の1割を越えれば念願の10万5千人を越す。歴史と伝統のある大クラブほど女性会員加入に消極的であると言われるが、今こそ意識改革を望みたい。

4: 若い会員の入会促進

平均年齢維持と元気なクラブ作りの為には若い会員の加入は当然。大胆な例会運営改革、活動領域 拡大、将来のリーダー育成などを求めて若き経営者に好都合な条件が適応され、勧誘は容易になったように見える。

5: 新クラブ設立(従来型、衛星クラブ型、Eクラブ型 など)

現在、従来型の新クラブ設立は何処であろうとも不可能に近い。そこで考案された新型のロータリークラブとしてweb活用のオンライン例会、即ちEクラブが、続いて衛星クラブが新カテゴリーの中で誕生し、忙しく若い方のため柔軟性のある運営を前面に出したクラブが世界各地で誕生した。第3ゾーンでも最近大阪と香川県にそれぞれ産声を上げた。今後も大いに期待し、会員増強の一助になるよう祈っている。

6: 隗より始めよ

「Member Get Member」という言葉がある。すなわち、「会員一人が新会員一人入会させよ」という意味。私達地域リーダーも含め、各クラブ会長が先頭に立ち増強に努めましょう

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 伊藤文利（倉吉RC）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.8.14

Vol.221

ハイライトよねやま

2019年4月採用米山奨学生の募集を開始

2019年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で538（前年度534校）。指定校からの被推薦者数は1,784人（前年度1,733人）で、この中から新規奨学生617人（*）が選ばれます。（*）継続生辞退、奨学期間半年および地区奨励奨学生採用により変動有り

大学・大学院以外の教育機関在籍者を対象とする地区奨励奨学金を導入したのは12地区で、指定校は23校、そのうち初指定は4校でした。

今回は、初めて全34地区が地区独自の選考基

準（地区選考の目安）を提示しました。最も多かった要望は「申込者が1カ国に偏らないよう国籍割合に配慮してほしい」（32地区）、次いで「ロータリー活動への積極性」（29地区）「日本語能力」（22地区）などが挙げられました。

指定校通知および募集要項・申込書などの書類は8月3日に指定校にメール配信しました。指定校からの応募期限は10月15日です。

※2019学年度採用の指定校一覧や募集要項・申込書式は当会ホームページにて公開しています

寄付金速報 — 2018-19年度も好調にスタート —

2018-19年度の寄付金は約2億3,000万円、前年度と比べて7.1%増（普通寄付金3.1%増、特別寄付金18.8%増）約1,500万円の増加となりました。2007年度以降直近12年間の中では最高額となり、順調な滑り出しとなりました。

ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇るプログラムです。今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

日台インターアクト交流、米山学友が懸け橋に

8月2～5日、第2660地区（大阪府）インターアクトが海外研修のため台湾を訪問し、第3461地区（台湾）インターアクトと交流をしました。同地区インターアクトは毎年、海外研修を行っています。今回、多くの米山学友が会員として所属する台中文心RCとの協議を重ねるなかで、初の台中訪問が実現。第3461地区から15校145人、第2660地区から10校55人のインターアクター、両地区のロータリアンが総勢330人以上参加する交流会となりました。

日台インターアクター共同での奉仕活動のほか、それぞれが自国の文化紹



介やダンスなどの発表をし、最後には大きな輪になって全員が盆踊りを踊りました。

第3461地区の張光雄ガバナーは「とても良い勉強の機会になったと思う。日台の学生の情熱を感じることができた。初の交流だが大成功だったと思う」と述べ、第2660地区インターアクト委員長中野隆二氏も、「米山奨学会の長

年の取り組みの一つの成果だと思う。一朝一夕にはできない事。先輩のロータリアン達に感謝している」と、感想を語ってくださいました。

（取材協力：ガバナー補佐 エレクト、元地区米山奨学委員長 福田治夫氏）

モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金

「平成30年7月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。このニュースに心を痛めたモンゴル米山学友会では、3月に就任したばかりのオイドブ・バトゲレル会長（2005-07／前橋RC）が中心となり、会員に義援金を呼び掛けました。

7月20日、同学友会を代表して、創立会長のジャンチブ・ガルバドラッハさんと第3代よねやま親善大使のエンフボルド・ボロルトヤさんが当会事務局を訪問。今なお避難生活を送る被災者や復興のために尽力する方々を気遣い、「被災された皆さまのために少しでも役立てていただけたら」との気持ちを綴ったお見舞い

の手紙と共に、モンゴル学友36人からの義援金14万9,050円を届けてくれました。義援金は全額、第2710地区（広島県・山口県）に送金しました。



ウイグル出身の米山学友らが西日本豪雨被災地へ

8月4日、関東在住の中国新疆ウイグル自治区出身の米山学友・家族計16人が、岡山県倉敷市の西日本豪雨被災地で、土砂撤去などのボランティア活動をしました。そのうちの一人、イスカンダル アブドバリさん（2017-18／川越RC）によると、今回の活動は在日ウイグル人有志団体が企画。総勢43人が現地へ赴き、行くことのできなかつた人たちも募金に協力して、義援金30万円を寄付したそうです。

ボランティアを終えたアブドバリさんは、「学友として、ロータリアンの方々にもいつも感謝の気持ちで胸いっぱいです。今回のボランティア活動は恩返しとまでは言えないが、災害地の皆様への応援の心が少しでも伝わればと思います。災害地の早期復旧を祈っています。今後もこのような活動に積極的に参加し、少しずつ恩返しして行きたいと思っています。日本、頑張れ！」と、メッセージをくださいました。

今回のボランティア活動に参加した米山学友

- ・ディリムラット ティリワルディさん（2003-04／熊谷RC）
 - ・マヒムト アブドワイトさん（2011-12／坂戸RC）
 - ・天山 シェムシデンさん（2005-06／児玉RC）
 - ・オシュル イブラヒムさん（2015-07／坂戸さつきRC）
 - ・イブラヒム アジさん（2005-06／羽生RC）
 - ・イスカンダル アブドバリさん（2017-18／川越RC）
 - ・サイダル アブドサマティさん（2018-09／坂戸RC）
- ほか8名および学友の配偶者1名



文庫通信 (371号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演から

- ◎これからのロータリー 斎藤直美 2016 7p (D.2520地区大会記念誌)
- ◎変わりゆく時代とロータリー 本田博己 2018 8p (D.2740地区大会記念誌)
- ◎ロータリークラブの運営について 深川純一 2016 9p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎よく分かる職業奉仕 藤林豊明 2016 10p (D.2520地区大会記念誌)
- ◎菩薩の心とロータリー 北河原公敬 2018 2p (D.2640地区大会記録誌)
- ◎ロータリーとの出会いを通しての成長 ジャンチブ ガルバドラッハ 2018 2p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎人類の進歩に役立つ科学の例 ～有機ホウ素化合物を利用する有機合成
鈴木 章 2018 5p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎男と女の脳科学 ～脳が作り出す男女のミゾ、人生の波
黒川伊保子 2018 10p (D.2710地区大会特集号)
- ◎これからの日本と誇りある国づくり 櫻井よしこ 2018 2p (D.2740地区大会記念誌)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

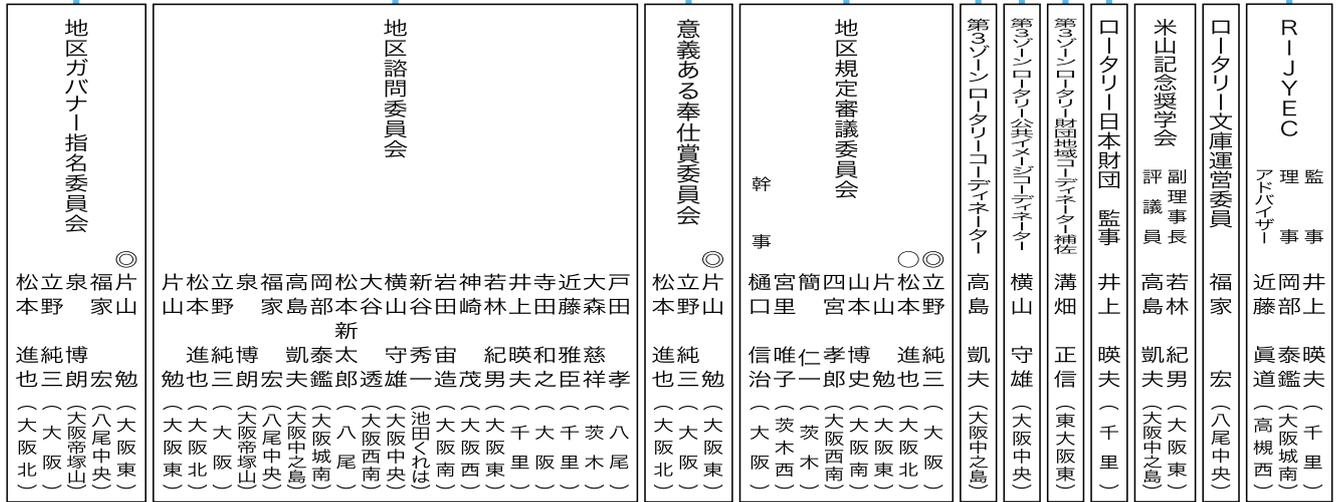


※組織図に一部変更がございますので、再度掲載します(9月1日現在)

(変更点)

- 地区研修委員会 ガバナーエレクト 四宮 孝郎 追加
- 危機管理委員会 → 青少年保護のための危機管理委員会に変更
- 青少年保護のための危機管理委員会 2017-18年度代表幹事 塩谷 眞治 追加
- 意義ある業績賞委員会 → 意義ある奉仕賞委員会に変更

国際 ロータリー	会長	バリール・ラシン
	会長エレクト	マーク・ダニエル・マローニー
	理事	石黒 慶一 / 三木 明



顧問団	立野 純三 (大阪)	松本 進也 (大阪北)	片山 勉 (大阪東)
-----	------------	-------------	------------

青少年奉仕部門

- 青少年奉仕統括委員会**
- ◎ 四宮 孝郎 (大阪西南)
 - 簡 仁一 (茨木)

社会奉仕部門

- 社会奉仕委員会**
- ◎ 塩尻 明夫 (大阪船場)
 - 佐田 幸夫 (大阪エバーグリーン)
 - 町 博昭 (新大阪)
 - 森垣 佳子 (大阪城北)
 - 木下 恵美子 (大阪イブニング)
 - 藤井 武治 (大阪バーサイド)
 - 中道 孝治 (守口イブニング)
 - 藤本 年朗 (箕面千里中央)
 - 石田 佳弘 (高槻)
 - 佐野 正剛 (枚方)
 - 須川 拓胤 (箕津)
 - 矢倉 昌子 (吹田西)
 - 奥山 裕治 (池田くれは)
 - 高木 大介 (高槻東)
 - 塩山 知之 (大阪北)

職業奉仕部門

- 職業奉仕委員会**
- ◎ 入谷 治夫 (高槻)
 - 西口 宗宏 (大阪アーバン)
 - 青田 朝代 (大東中央)
 - 西辻 豪人 (大阪東南)
 - 澤田 宗久 (大阪船場)
 - 山崎 修一 (大阪鶴見)
 - 福山 信也 (大阪城東)
 - 城口 俊雄 (大阪北)
 - 木下 正二郎 (大阪北梅田)
 - 寺田 幸司 (大阪西)
 - 高橋 秀一郎 (大阪)
 - 上甲 悌二 (大阪南)
 - 藤田 喜枝 (大阪城北)
 - 村井 清則 (大阪フレンド)

クラブ奉仕部門

- クラブ奉仕・拡大増強委員会**
- ◎ 藤井 眞澄 (大阪南)
 - 加茂 次也 (東大阪)
 - 安部 吉宏 (大阪西)
 - 高橋 司 (大阪東)
 - 板垣 善雄 (高槻東)
 - 新庄 幸一 (枚方)
 - 井上 嗣仁 (吹田江坂)
 - 岡田 修一 (大阪平野)
 - 川田 貴亮 (大阪南)
 - 下井 謙政 (大阪南)
 - 柳川 義行 (吹田)
 - 銭高 文善 (大阪)
 - 堀内 伸也 (八尾東)
 - 武島 秀吉 (大阪御堂筋本町)

インターアクト委員会

- ◎ 中野 隆二 (大東)
- 西浦 誠二 (大阪天王寺)
- 吉田 法功 (八尾)
- 早瀬 祥人 (大阪南)
- 川瀬 康平 (大阪)
- 片山 一步 (大阪帝塚山)
- 小阪 大輔 (高槻)
- 杉村 雅之 (大阪中之島)
- 森田 武雄 (大東)
- 中島 崇 (大阪天王寺)
- 大槻 恭介 (八尾)
- 元古 隆司 (守口イブニング)
- 西村 栄一郎 (大阪)
- 高原 誠一郎 (池田くれは)

ロータリーアクト委員会

- ◎ 中島 清治 (大阪天満橋)
- 前川 経雄 (東大阪)
- 菅本 泰年 (新大阪)
- 島ノ内 英久 (大阪東)
- 浦 収 (箕面)
- 石川 益三 (大阪難波)
- 田中 康正 (八尾)
- 山中 政彦 (大阪西)
- 向井 弘 (寝屋川)
- 佃 啓史 (守口)
- 清川 要治 (大阪北)
- 仲西 良浩 (大阪天満橋)
- 松田 朋浩 (大阪南)
- 伊藤 勝彦 (大阪南)
- 稲富 修 (大阪城北)
- 樋口 晃 (大阪西南)

青少年交換委員会

- ◎ 生沼 寿彦 (大阪うつほ)
- 三好 えり子 (大阪そねざき)
- 伊藤 定夫 (大阪バーサイド)
- 川本 典美 (大阪ネクスト)
- 和泉谷 研 (大阪帝塚山)
- 一由 麻里 (東大阪東)
- 山本 宏樹 (寝屋川)
- 松尾 治 (東大阪西)
- 西川 雅章 (大阪西)
- 大橋 秀典 (東大阪東)
- 朝田 由治 (大阪北)
- 土方 慶之 (茨木)
- 岸本 健之亮 (大阪北梅田)
- 寺川 明宏 (大阪南)
- 関 洋輔 (大阪フレンド)
- 戸谷 太郎 (大阪北梅田)
- 木村 友昭 (大阪西)
- 松吉 富美彦 (くずは)

広報・情報・公共イメージ向上委員会

- ◎ 樋口 信治 (大阪)
- 広報担当**
- 辻 幸雄 (大阪中央)
- 公共イメージ向上担当**
- ◎ 新倉 雄二 (大阪)
- 情報・IT担当**
- 山西 陽祐 (高槻東)
- 細井 敦子 (大阪城東)
- 吉田 政雄 (茨木)
- 青木 おおる (大阪みおつくし)
- 田島 暢 (大阪平野)
- 湯木 尚二 (大阪)
- 小松 克巳 (大阪北梅田)
- 藤木 玄三 (大阪東)
- 岸本 美智子 (大阪そねざき)
- 田村 マリア (大阪南)
- 井本 万尋 (大阪中之島)
- 橋本 憲治 (高槻)

※広報・情報・公共イメージ向上委員長は グローバルリワード地区委員長兼任

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 山本 博史 (大阪南RC)
- 地区代表幹事 宮里 唯子 (茨木西RC)
- 地区副代表幹事 山本 和良 (大阪南RC)
- 担当地区幹事 横尾 国治 (大阪南RC)
- 地区幹事 木村 芳樹 (大阪南RC)
- 地区幹事 栗原 大 (大阪フレンドRC)
- 事務局員 加茂 春日

2018 - 19年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	山本 博史
地区代表幹事	宮里 唯子
地区副代表幹事	飯井 克典
	山本 和良
事務局員	栗正 久美
	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2018年12月31日(月)~
2019年1月4日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所には会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp